

校長室だより

めざす学校像

- ・「楽しい」がたくさんある学校
- ・「あいさつ」と「ありがとう」がたくさん聞こえる学校
- ・保護者・地域とともに子どもの育ちを支える学校

津市立美杉小学校 No.10 令和5年7月20日 (文責:上野毛戸)

さあ、夏休みです。～子どもたちが自ら学ぶ機会を～

7月18日(火)19日(水)の2日間の個別懇談会に、お忙しいところ来校いただきありがとうございました。本日、終業式を行い、いよいよ明日21日(金)からは、長い夏休みが始まります。それぞれのご家庭で、夏の行事や計画が予定されていることと思います。子どもたちは、42日間という長い期間を家庭で過ごすこととなります。大変なこともあると思いますが、子どもたちにとって有意義な夏休みとなりますようご協力をお願いします。保護者のみなさまあての「夏休みの生活について」や児童会から子どもたちに出された「夏休みの約束」、そして、各学年の通信等でお知らせしたことを参考にいただき、

『楽しく、健康で安全な生活を送る』

『意義のある夏休みにする』

ことを心にとめてお過ごしいただきたいと思います。

さて、終業式では、今年の夏休みを迎えるにあたって、自分から学ぶということを大切にしてほしいと子どもたちに話しました。これまでも、学ぶことは自分の世界を広げることにつながるといったお話をしてきました。学ぶことは、つき詰めれば、将来の選択肢を広げることにつながっていくのです。そこで、夏休みは、人に言われてからするのではなく、自分から学ぼうとする姿勢を大切にしてほしいということを話しました。

7月に、5年生の教室に行った時に、ある子どもから「先生、今日はテストある？」と質問されたので、「今日は無いよ」と答えたのですが、気になったのでその理由を聞いてみました。その子の答えは、「テストしたいなって思った」というものでした。何回か漢字テストの復習をしたことで、漢字の練習をがんばることが身についてきて、その結果、テストをしたいと考えたようです。自ら学ぶというのはこういうことなのではないでしょうか。この場合は、きっかけは担任の先生から、宿題をするように言われているわけですが、誰かに言われたのであっても、この子は、自分の力を試したいという思いを持ったことが、自ら学びたいということにつながっていると考えられるのです。もしかしたら、子どもがどうすればやる気になってくれるのかということとは、さほど難しいことではないのかもしれない。

もちろん、「勉強は?」「宿題はすんだの?」などと言われる前に、自分からやってみるのも、自ら学ぶ一歩です。子どもをその気にさせるためには、周りの大人が少し待ってみることも必要かもしれませんね。

<1学期の学習から>



ぐるりんペーパー事業にご協力をお願いします。

※ 8月13日～8月16日は校務休止日です。2学期の始業式は、9月1日(金)です。